

次世代植物工場 への挑戦

次世代植物
工場研究会
2014

～機能性農産物の創出を目指して～

“農業の競争力を強くしよう”とされています。高齢化時代で健康にいい食材が求められています。そのためいま機能性農産物が注目されています。今回はその最先端の研究開発動向について検討し、取り組むべきテーマを抽出していきたいと思えます。本プロジェクトを推進していくためには、バイオやアグリフード関連の研究者や企業とともに、**製造業系企業等**の参画が必須です。

日時

平成26年 5月9日(金)
14:00～18:00

会場

IDEC大会議室
横浜市中区太田町2-23
横浜メディア・ビジネスセンタービル8階

参加費

市内企業1,000円/1名
市外企業2,000円/1名
(当日会場にて申し受けます)

プログラム

基調講演 (14:05～15:20)

『植物工場における遺伝子発現解析

—植物生理状態の超高精度な評価法とその有用性—』

大阪府立大学 バイオプロダクション工学研究室 准教授 福田 弘和氏

<講演概要>

生理代謝の多くが遺伝子発現に起因している。植物は数万個の遺伝子を持っているが、その全ての発現情報(トランスクリプトーム)を得ることができれば、植物の生理状態を高精度に定量化でき、栽培環境の是非を高度に議論できるようになる。例えば、人工環境下における体内時計の僅かな狂いも解析でき、栽培プロトコルの改良に役立てることができる。本講演では、全植物を対象としたトランスクリプトームの取得方法とその有用性を紹介する。

企業からのメッセージ 1 (15:30～16:15)

『(株)インプラントバージョンズ
での取り組み』

(株)インプラントバージョンズ 社長 高根 健一氏

<プレゼン概要>

「(株)インプラントバージョンズは、バイオ技術を用いて、植物の機能を最大限に引き出し、新しい可能性を広げることを目指しています。本プレゼンでは、「ミラクルトマトや光る花の開発などの例を紹介するとともに、バイオ技術等を活用する機能性農産物等開発の動向と今後のあるべき姿・方向性などについて言及する。」

企業からのメッセージ 2 (16:15～17:00)

『機能性農産物に期待するもの
～漢方薬等医薬品製造業者からのニーズ～』

大草薬品(株) 社長 大草 貴之氏

<プレゼン概要>

「大草薬品(株)は、80年以上にわたり、漢方薬・生薬製剤等の医薬品及びハーブを用いた健康食品の製造を行ってきた。本プレゼンでは、生薬や漢方薬の現状、課題等について紹介するとともに、漢方薬製造業者としての立場からの植物工場(施設栽培)への期待について述べる。」

交流会

(17:00～18:00) IDEC 大会議室にて行います。

お問い合わせ先

(公財) 横浜企業経営支援財団 経営支援部 技術支援課 TEL:045-225-3733

FAX:045-225-3738 <http://www.idec.or.jp> ◆イベントのお知らせをご覧ください。

次世代植物研究会 参加申込書

氏名	所属・役職名
企業名	事業内容
所在地 〒	
TEL	FAX
E-mail	

※ご記入いただいた個人情報は、内部資料(参加者リスト)を作成する目的、財団からの各種案内を送付する目的のみに使用し、他の目的には一切使用しません